

DanRyu VOL.1

2022

2022年度テーマ

CHALLENGE!!
OKAYAMA

ウィズコロナ・アフターコロナで
岡山市が目指す未来

2021年度 活動報告

SDGs企業紹介

2022年度 実施予定事業



Special Talk

ウィズコロナ・
アフターコロナで
岡山市が目指す未来

大森雅夫

岡山市長

×

石井聖至

公益社団法人 岡山青年会議所 第72代理事長

暖流

CONTENTS

Special Talk

ウィズコロナ・アフターコロナで
岡山市が目指す未来

大森雅夫市長と石井聖至理事長の意見交換

01

SDGs企業紹介

杉岡建設株式会社 常務取締役/
総務・広報委員会 委員 杉岡 裕

06

04

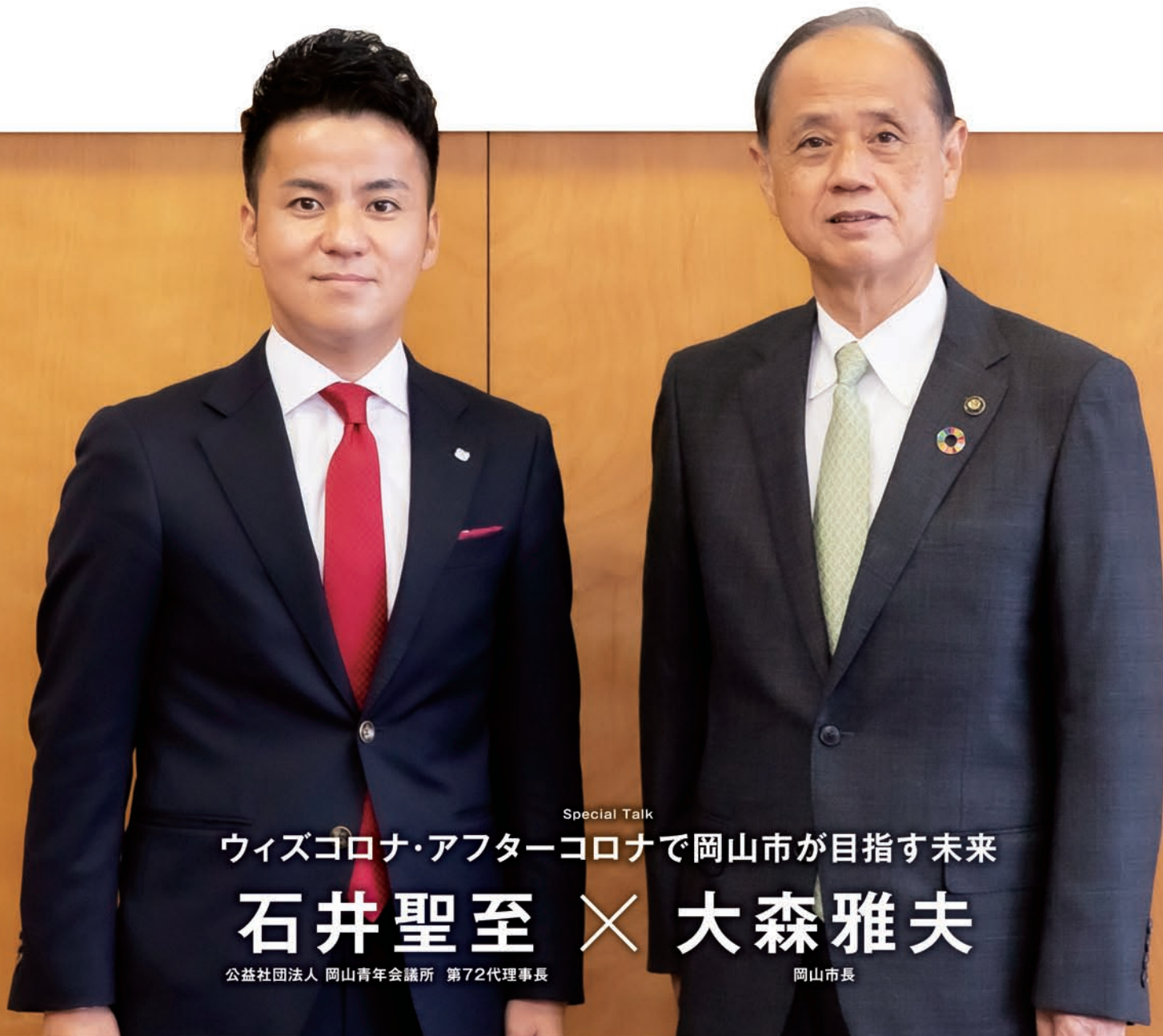
2021年度 活動報告

- 1.「池田動物園 活性化プロジェクト」
- 2.新桃太郎伝説 桃太郎像寄贈式
- 3.「シゴトカレッジ」プレゼンテーション大会開催
- 4.スパイラルeスポーツ桃太郎カップ2021
- 5.市民公開例会 ローランド氏講演会
- 6.うらじゃのソコチカラ 2021～継承～
- 7.うらじゃ絵本の寄贈式
- 8.家族で学ぼう! おうちで防災アドベンチャー

2022年度 実施予定事業

08

- 1.～再発見おかやま!!ディスカバーウォーク2022☆～
- 2.県内大学との連携授業「シゴトカレッジ2022(案)」開催



Special Talk

ウィズコロナ・アフターコロナで岡山市が目指す未来

石井聖至 × 大森雅夫

公益社団法人 岡山青年会議所 第72代理事長

岡山市長

暖流

公益社団法人岡山青年会議所

Since 1951

2022年【暖流】発行にあたって

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。

青年会議所「JC」は20歳から40歳までの青年経済人たちが、地域経済の活性化や地域の課題解決に取り組み「ひとづくり」や「まちづくり」を行っている団体です。

青年会議所は全国でおよそ700あります。その中でも、岡山青年会議所は、全国でも9番目に早い1951年に設立され今年で72年目を迎えます。

近年、めまぐるしく変わる社会情勢や環境の中、青年会議所活動には大きな変革が求められています。世界を震撼させた新型コロナウイルスの影響により「ニューノーマル」という言葉が広まり、以前の生活様式や経済活動、あらゆる行動において時勢に合わせた変化が必要とされています。青年会議所の活動もまたその影響下にあり、新たな一歩を踏み出さなければなりません。昨年度は、「ローランド氏講演会～自分の人生、自分が主役だ!～」や、「家族で学ぼう!おうちで防災アドベンチャー」など、時勢に合わせた事業を実施してきました。

今年のスローガンである「CHALLENGE!!OKAYAMA」は、青年として若者らしい発想で、心豊かに胸躍る理想のまち「おかやま」の創造に挑戦しようという想いを込めています。2022年度の岡山青年会議所、そして我々の活動に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 第72代理事長

石井聖至

CHALLENGE!!

OKAYAMA



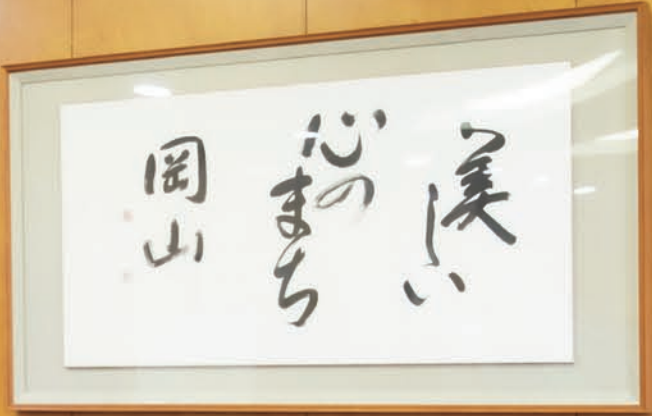
石井聖至
Kiyonari Ishii

昭和57年5月に、岡山市に生まれる。平成17年、大阪学院大学経済学部を卒業後、株式会社オカムラに入社。平成22年に株式会社石井事務機センター入社後、令和3年に専務取締役役に就任後、現在に至る。公益社団法人岡山青年会議所には平成25年に入会し、令和元年に組織未来室常任理事、令和2年にまちづくり室副理事長、令和3年に未来創造室副理事長を歴任。



大森雅夫
Masao Omori

昭和29年2月、岡山市に生まれる。昭和52年、東京大学法学部卒業後、建設省に入省。昭和60年熊本県企画開発部企画課長、平成6年建設省大臣秘書官事務取扱、15年内閣府大臣官房会計課長兼内閣官房内閣参事官、20年内閣府政策統括官(防災担当)、24年国土交通省国土政策局長などの要職を歴任し、25年に退職。同年10月に岡山市長に就任し、現在3期目。座右の銘は「信なくば立たず」「為政清明」。



特別対談

大森雅夫岡山市長と2021年の総括とまちづくり、そして来年度以降の計画や岡山の未来、SDGsなど、多岐にわたって意見を交わしました。

石井聖至(以下、石井) 次年度岡山青年会議所理事長を務めます石井と申します。よろしくお願致します。
まず2021年末、新型コロナウイルスが収束に向かっていますが、下半期を振り返った総括。2022年の課題をお聞かせいただければと思います。

大森雅夫(以下、大森) 下半期も新型コロナウイルスと戦ったのではないかと思います。第4波では、1日の感染者が100人を超える日があるなど、かなり厳しい状況となりました。保健所体制を大幅に充実させていきました。そこから第5波でも相当の感染者数となりましたが、対応はある程度円滑に行うことができたように思います。また、ワクチン接種に全力を尽くしました。皆様のご協力により2回目接種まで順調に行うことができました。現在は3回目接種の準備を進めています。今後は第6波の可能性も念頭に、引き続き、対策を考えていかなければならないですね。

一方で観光、そして飲食、交通は、非常に落ち込んでいます。また飲食だけではなく、そこに納入する様々な業種の方も非常に大変な状況になっています。
岡山青年会議所に所属されている方の会社も、大変な状況にあることもまた事実だと思います。だから我々としてもできることを最大限やっていきますし、国も55兆円という経済対策を打っているので、それを活用することもに我々の財源でもできることを精一杯やっていく、というのが2022年なんじゃないですかね。

石井 ありがとうございます。続いて岡山市の未来の展望についてお聞かせ頂ければと思います。
岡山青年会議所は明るい豊かな社会を作ることを理念として持っており、なかでも子どもの教育には力を入れる必要を感じています。子どもたちがこのまちに対して明るい未来を描けることが、まちの発展や、盛り上がりに関わるのではないかと考えています。
そこで市長には岡山市が目指す未来像や、

には新しく岡山芸術創造劇場がオープンします。そういう楽しみ要素も、まちには必要。特に中四国の中で発展を牽引するのは岡山・広島・両政令市だと思いますので、生き生きとした力強さも必要だと思えますね。
そして温暖化が進む中で、平成30年の豪雨がありましたよね。これからも大雨は想定して対応せざるを得ない。安全安心のために何をするか。そういったことを含め、一局面だけではなく、考えていく必要があると思います。

石井 分かりました。ありがとうございます。また今後の経済対策についてもお聞かせください。ウィズコロナ・アフターコロナにおける岡山市の事業や経済対策についてお聞かせいただけますか。
大森 新型コロナウイルス感染症の影響は様々な所で出ています。例えば認可外保育施設への利用料補助など、新型コロナウイルスによって影響を受けているものに対して、一つひとつ対応していくこと。
もうひとつは2022年に新型コロナウイルスが収束していくことを前提に話していくと、まずは人を呼び込まなきゃならないよね。そこでまず岡山芸術交流が動き出します。来年が3回目なんだけども1・2回目と何が違うかというインパクト。外国の方が来ない中でどれだけ盛り上げていくか、かというのを考えたら、

キーワードはふたつ。ひとつは地元、ひとつは子ども。そういう所から盛り上げていく必要があるんじゃないかと思えます。
石井 なるほど。ありがとうございます。やはり人が集まらないと、ということですね。子育て世代のことに少し触れていたいただきましたので、それに加えて、子どもたちが未来に夢を持てるようにするために大人世代はどんな在り方が望ましいかと思えますか。
大森 今はこれだけデジタル化が進んだり、逆にマイナズ面では温暖化や人口が減少したりなどの状況で、どうすればいいのか大人だって良くわかっていない。
そこで新しく策定した教育大綱では、挑戦し、失敗したとしても、もう一度挑戦するような粘り強さを求めている子どもを育てていくことを考えました。
岡山も起業する方がずいぶん増えてきました。大人が楽しみ生き生きと新しいことに挑戦しているか。それを子どもたちが見ると喜ぶんじゃないかな。
ひとつ私が好きな言葉があるんですけど、不易流行という言葉があるのを知ってる？

石井 はい、青年会議所の理念の中にも入っています。
大森 岡山本来の良さを守りながら、新しくどんどん脱皮していく。変わっていく姿を子どもたちに見せるということが大切なのではないかと思えますね。

石井 私も来年度のテーマを「挑戦」として、挑戦を続ける限りは失敗という概念はないということをメンバーに伝えていきます。我々は若いので失敗を恐れなという意識は大切だと感じています。
またSDGsの未来都市に岡山市が選ばれていますが、これからの取り組みについてお聞かせいただければと思います。

大森 住んでいると分からないかもしれないですが、岡山市は「ESD」、持続可能な開発のための教育に関して、世界の中の岡山市」として知られているんです。
優れたESDの取組を顕彰する「ESD岡山アワード」を行っているのですが、2021年は48の国・地域から118件の応募がありました。受賞したのは南アフリカとフィリピンの団体です。南アフリカは河川環境の改善、フィリピンは識字率向上に取り組んでいます。こうした取組を顕彰することで、ESDの様々な分野で先導的な役割を果たしているのです。
現在、新庁舎の建設を行っているのですが、そのエネルギーはすべて再生エネルギーで賄うことにしています。また、ベクトル等々のプラスチックごみの削減など、一つひとつの具体的なやっていく。これはJICの皆さんも会社があるわけだから、取り組んでもらいたいと思いますね。

石井 分かりました。ありがとうございます。それではもう一つですね。我々青年会議所に市長が求めることと、いったらどういったことがあるのでしょうか。
大森 やはり世の中を変えていくのは「若者、バカ者、よそ者」ですから。若者であるJICの皆さんには、少々失敗してもいいくらいの気持ちで、どんどん挑戦してほしいです。応援しています。

石井 ありがとうございます。最後に暖流の読者に向けてメッセージをお願いします。
大森 やはり「不易流行」ですね。自分が本来持っているものも大切ですが、変わっていくことも必要です。それによって、本来持っている本質的なものを、より大切にして生きていくことになるのではないかと思います。「不易流行」をぜひ実行してもらいたいと思います。

※この対談はマスク着用(写真撮影時以外)、手指消毒、検温チェック、ソーシャルディスタンスの確保等、安全面に最大限配慮したうえで行いました。

04

スパイラルeスポーツ桃太郎カップ2021

スパイラルeスポーツ桃太郎カップ2021を8月29日(日)に開催いたしました。

コロナ禍の状況下ではありますが、オンライン開催ということで、日本全国多くの皆様にご参加いただき、楽しい時間を共有できたこと、大変嬉しく感銘を受けております。

ご協力、ご理解いただきました皆様、改めて心より感謝申し上げます。



05

市民公開例会「ローランド氏講演会 ~自分の人生、自分が主役だ!~」

11月10日に市民公開例会「ローランド氏講演会 ~自分の人生、自分が主役だ!~」が開催されました。岡山市民会館を会場としてローランド氏らしい、自信に満ち溢れたメッセージをいただきました。一つひとつの言葉にユーモアを交えながらも、ローランド氏の経験からくる考え方、その裏付けを具体的な実例を交えながらお話いただき、学びが多い時間になりました。



08

家族で学ぼう!おうちで防災アドベンチャー

岡山市内の小学生とその保護者を対象に、新型コロナウイルスの影響を受けず、Zoomで参加可能な防災の知識・災害直後の注意点・応用力と発信力・伝達力と共助などを学べる防災事業「家族で学ぼう!おうちで防災アドベンチャー」をIPU環太平洋大学内のIPUスタジオから2021年12月4日(土)に実施しました。

当日は126人の方がZoomで参加していただきました。Zoomでの開催でしたが子供たちや保護者の皆様の笑顔溢れる事業となりました。本年度ご協力をいただきました皆様、誠にありがとうございました。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



07

うらじゃ絵本の寄贈式

12月6日(月)にうらじゃ絵本の寄贈式を行いました。

原作を担当していただいた河合様、イラストを担当していただいたヨシトワ様、編集を担当していただいた母袋様、小林理事長四名に出席いただき寄贈及び岡山市役所様より感謝状の贈呈をいただきました。

贈呈した絵本は岡山市の幼稚園、保育園等に配布予定で、ひとりでも多くの子ども達にうらじゃの良さを伝える事ができればと思います。



06

うらじゃのソコヂカラ 2021~継承~

新型コロナウイルスの影響を受け、2年連続で中止となったうらじゃ本祭。それでも、うらじゃの火種を絶やすことなく、関係者一人ひとりの想いを汲み取り、次年度へ継承する為にテーマを「継承」として「うらじゃのソコヂカラ2021~継承~」を2021年11月21日(日)に実施しました。

当日は会場への収容人数を制限し、YouTubeでのライブ配信を行うことで新型コロナウイルスへの万全な対策が行われました。参加された17連の皆様、の演舞や総踊りで、会場は本祭のような活気に溢れました。来年こそはうらじゃ本祭が開催できることを願うとともに、本年度ご協力をいただきました皆様、誠にありがとうございました。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



01

岡山にキリンが来る! 公益社団法人岡山青年会議所 創立70周年記念事業 「池田動物園 活性化プロジェクト」

4月16日(金)に池田動物園でキリン(サンタロウ)の贈呈式を執り行いました。

クラウドファンディングへご協力下さった皆様ありがとうございました。キリン(サンタロウ)は高知県立のいち動物公園(香南市)から来た雄のキリンです。生後1歳10カ月で、頭までの高さが約3.2メートル、体重は約300キロ。人懐っこい性格とのことです。

1953年に開園した岡山市内唯一の動物園である池田動物園。しかし近年では、動物園の顔であるキリン・ゾウ・ライオンが相次いで亡くなったため来場者数が減少傾向にありました。キリン(サンタロウ)が池田動物園に活気を取り戻し地域の活性化に繋がると確信しております。

2021 ACTIVITY REPORT

2021年度活動報告



02

新桃太郎伝説 桃太郎像寄贈式

5月25日に岡山桃太郎空港にて新桃太郎伝説 桃太郎像寄贈式が執り行われました。多数の報道陣にもお集まりいただき「岡山の新たなシンボル」への注目度が高い事をあらためて実感いたしました。

クラウドファンディングから多くの方にご協力をいただき本当にありがとうございました。また、引き続き行われた桃太郎像フォトコンテストにも多数のご応募をいただきありがとうございました。

岡山の空の玄関口に設置された新シンボル桃太郎像を永く愛していただけると幸いです。



03

岡山県内大学との連携授業 「シゴトカレッジ」プレゼンテーション大会開催

6月12日(土)より岡山青年会議所の会員企業10社に対して県内複数の大学生を対象としまして、実際の企業の課題を解決する考え方を学ぶオープンイノベーション授業「シゴトカレッジ」が8月7日(土)までの計5回単位認定授業として開催され、最終日のプレゼンテーション大会を終えました。

学生は活きた事業課題を学生のうちから学ぶ事ができ、将来の就職活動にも役立つ事、経営者などとのコミュニケーションから、思考を学びとることの出来る、より実践的なインターンとなりました。

事業を運営する上でどうしても起こってしまう課題に対して、学生の若い考え方、マーケティング、情報や価値観を擦り合わせていくことで、コロナ禍の時代を生き抜くニューノーマルを企業側にも取り入れ、企業、学生、地域、大学などの問題点を解決し新たな交流を持つことが出来ました。

これからも岡山青年会議所だからこそ出来る事業を通じてコロナ禍に負けぬ活動を実施してまいります。



メンバー企業の取組紹介

杉岡建設株式会社 常務取締役／総務・広報委員会 委員

杉岡 裕

杉岡建設では、すべての人に働きがいを持って生活できるように、特に障がい者が活躍できるような活動に積極的に取り組んでいます。例えば、弊社の作業服にある会社名の刺繍は障がい者の就労支援を行っているNPO法人へ依頼して製造しています。また、駅前や市街地にある建築現場の仮設作業足場にハンディキャップアートを掲示することで、近隣を利用する人達にSDGsの活動について理解を促す役目を果たしています。

また、製造者として持続可能な消費と生産パターンの確保にも取り組んでいます。建物の解体現場で発生したコンクリートなどを回収し、鉄などの不純物を取り除いた上で細かく粉砕し、再生砕石として新しい工事現場に再利用する事業を行っています。

このような活動を継続的に続けていくことで、地域全体がSDGsの活動に積極的に取り組むことができるよう挑戦を続けていきます。



杉岡建設株式会社

岡山県新見市新見368-4
TEL:0867-72-0615 www.sugioka-kk.co.jp



株式会社パオワオ2号 取締役／おとなまちづくり委員会 副委員長

中西 大輔

株式会社パオワオ2号は自動車の整備業として、愛車を少しでも長く乗っていただくように整備、メンテナンスをすることにより、SDGsを推進していきます。

新エネルギーである電気自動車への切り替えが徐々に進んできていますが、まだまだ環境整備が進んでいないため新たなエネルギーの車への乗り換えは誰しも気軽にはできません。ですので、日々の整備やメンテナンスをしっかりと行い、今乗っている車の寿命を延ばすのが環境保全にも繋がると当社では考えております。

その取り組みと同時に、新しい技術、知識を常に勉強することにより、お客様の未来のため、地球の未来のために何が最善か提案できるよう社員一同、一車懸命頑張っております。

株式会社パオワオ2号

岡山県岡山市南区西市98-1
086-241-7500 e-mail:daisun_3@yahoo.co.jp



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとはSustainable Development Goalsの略で、日本語では持続可能な開発目標と言います。17の世界的目標、169の達成基準、232の指標からなる持続可能な開発のための国際的な開発目標となっています。ミレニアム開発目標が2015年に終了することに伴って2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記述された2030年までの具体的指針です。

なぜ、今SDGsが必要なのか

先進国を中心とした、環境や社会を顧みない経済発展は、貧困格差や異常気象といった社会課題や環境課題を顕在化させました。同じ地球に住む人間としてこのままいいのか？すべての人が将来にわたって平等に生活するためにも、今、「持続可能な」開発に取り組む必要があります。

SDGsのウェディングケーキモデルは、環境・社会・経済の関係性をわかりやすく表現しています。健全な環境の上に社会があり、経済発展が実現できる事を表しています。また、環境・社会・経済の目標は単独で実現するのではなく、様々なパートナーシップの元、実現するべきであることも重要です。



SDGs 豆知識

SDGsについて学ぶのに便利なツールを紹介します。その名も…「カードゲーム 2030SDGs!」カードゲームを通じて、SDGsの必要性や達成に向けた課題の認識ができます! 一般社団法人イマコラボより提供されていますので、興味のある方はぜひお問い合わせ下さい。

check!



02

県内大学との連携授業「シゴトカレッジ2022(案)」開催

開催日 2022年6月4日～2022年7月23日

開催場所 IPU・環太平洋大学 / **課題提供企業訪問** **参加定員** 70名(先着順)



シゴトカレッジ2022「ビジネス特別講義II」

企業の仕組み(利益構造やどのような経営判断を重ねるか)を学び、おかやまに根ざす企業の企業価値や時代に即した新たな企業価値の分析をグループワーク形式で学び考えます。研修過程で郷土おかやまのまちや企業の魅力や抱えている問題への関心を深め、社会人としての意識やマナー、ビジネススキル、お金に関する知識を身につけ、起業家意識を醸成することで、選択肢を広げると同時に、郷土おかやまの地域課題解決と持続可能な地域経済の発展を目指します。

募集期間 2022年2月1日～ **参加定員** 70名(先着順)

大学コンソーシアム提供科目！単位取得可能！

講義日程 全5日 全日程の参加が条件となります。

■第1講	6月 4日(土)	10:45-18:00	IPU 環太平洋大学キャンパス
■第2講	6月 11日(土)	13:00-18:00	課題提供企業訪問
■第3講	6月 25日(土)	09:00-12:15	IPU 環太平洋大学キャンパス
■第4講	7月 9日(土)	13:00-18:00	課題提供企業訪問
■第5講	7月 23日(土)	13:00-18:00	IPU 環太平洋大学キャンパス

注意事項

■単位取得可能大学は大学コンソーシアム岡山参加大学単位互換制度に則り一部大学に限ります。
■参加資格：岡山県内の大学生で2年以上の方
■その他詳細はHPからご確認ください。

JCI 公益社団法人岡山青年会議所
岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6階
Email:shigotocollege2022@gmail.com

詳細は右記 QR からご確認ください。
新着情報随時更新中!!
昨年の様子も掲載しています!!



岡山県内の大学生を対象に、おかやまに根ざす企業の成り立ちや理念を学生と共有して、企業の仕組みの基礎や地元企業の企業価値を学ぶ短期間の実践講義です。

岡山青年会議所の会員企業7社に対して県内複数の大学生を対象として、実際の企業の企業価値を分析する考え方を学ぶオープンイノベーション授業「シゴトカレッジ」が昨年に引き続き、2022年も開催します。

企業の仕組み(利益構造やどのような経営判断を重ねるか)を学び、地元企業の企業価値の分析をグループワーク形式で学び考えます。研修過程で郷土おかやまのまちや企業の魅力や抱えている問題への関心を深め、社会人としての意識やマナー、ビジネススキル、お金に関する知識を身につけ、起業家意識を醸成することで、選択肢を広げると同時に、郷土おかやまの地域課題解決と持続可能な地域経済の発展を目指します。

01

～再発見おかやま!!ディスカバーウォーク2022☆～

今年の夏休みは
みんなで鬼退治に出かけよう!!

～いざ、鬼退治へ!!～
おかやま各地に鬼が現れた。
さあ、この夏はみんなで鬼を退治する
冒険に出かけよう



おかやまには、まだまだ知られていない魅力的な歴史やスポットが数多く存在します。

今年の夏休みは、そういった隠れたスポットを再発見するとともに、実際に現地に足を運んでもらい、郷土おかやまの魅力を感じていただければと思います。

山陽新聞社さんとコラボし「鬼詣」というゲームアプリを使い、楽しみながら岡山各地を巡っていただいたり、岡山市教育委員会から後援いただき、小学校の自由研究課題としても提出いただけます。

今年の夏休みは、是非多くの方におかやまの魅力を感じていただき、より岡山の事を好きになって貰えればと思います。

位置情報 鬼退治アプリ 桃太郎外伝 鬼詣 岡山見聞録

<https://onimode.jp/>

オニモウデ 🔍

App Store

Google Play



Slogan Logo



【今年度のスローガンロゴ】

2022年度の岡山青年会議所のスローガン「CHALLENGE!!OKAYAMA」

世界を震撼させた新型コロナウイルスの影響により「ニューノーマル」という言葉が広まり、以前の生活様式や経済活動、あらゆる行動において時勢に合わせた変化が必要とされています。青年会議所の活動もまたその影響下にあり、新たな一歩を踏み出す挑戦の思いを込めて制定しました。

そしてまさに今、次代を築くべき青年である我々一人ひとりが立ち上がり、自らの能力を発揮できるよう真摯に努め、社会を牽引していく立場にある自覚が求められています。状況に左右されて変化させられるのではなく、能動的に変化を巻き起こすことのできる存在となるよう挑戦を続け、恐れることなく行動を起こす若きリーダーとなる願いが込められています。



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



次号は6月発行予定です。

発行日 令和4年1月
発行 公益社団法人岡山青年会議所
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所
総務・広報委員会
委員長:大塚 真弘
綾部 系一・久保 和裕・服部 悟
川口 修司・岡田 有造・岸本 啓吾・杉岡 裕・坂本 雅樹